

ペットを飼う前に



生き物を飼うということは、その生き物の一生を責任もって面倒を見るということ。飼う前に、家族みんなでよく考えてみましょう。

ペットがを飼える住居ですか？

集合住宅ではペットの飼育が禁止されてることが多く、ペット可の場合でも、飼えるペットの種類や大きさ等が規約で定められていることもあります。借家や社宅などの場合は、所有者の許可が必要です。今は大丈夫でも、将来転勤や転居の可能性はありませんか？

家族全員が動物を飼うことに賛成していますか？

あなたが病気になった時、何かアクシデントでペットのお世話ができなくなっ時、家族の協力は欠かせません。また、家族の中にアレルギー体質の方がいませんか？もしいる場合は、飼う前に医師に相談しましょう。

経済的な余裕はありますか？

ペットを飼うには、ペットの購入代金以外にもいろいろなお金がかかります。毎日の食費、首輪などの用品費、ケージ、水槽などの設備費等。初期費用だけでなく、買い替えや修理維持費などもかかります。各種のワクチン接種、病気の予防接種、治療費など、健康管理に関わる費用も必要です。

毎日欠かさずお世話ができますか？

ペットは、生きていくための全てをあなたに依存しています。毎日の餌やり、排泄物の始末、運動などなど、しなくてはならないことがたくさんあります。これらを毎日こなす時間と体力がありますか？

近所に信頼のおける動物病院はありますか？

犬、猫ならたいてい大丈夫ですが、そのほかの動物の場合、その動物を診てくれる医師がいるかどうかも確認しておきましょう。

ご近所に迷惑をかけないように、配慮できますか？

鳴き声や臭い、糞の放置は近隣トラブルの元になります。また、適切なしつけや防音対策も必要です。

一生飼い続けることができますか？

ペットだけでなくあなた自身の人生のことも含め、よく考えてみましょう。就職、転居、結婚、出産などの人生の転機にもペットを飼い続けることができますか？
犬や猫の平均寿命は十数年だそうです。高齢になると介護が必要になることもあります。

飼いたいペットはあなたのライフスタイルに合っていますか？

動物は、種によって生態や必要なお世話が大きく異なりますし、犬や猫などの場合は品種によっても違います。見た目やイメージではなく、その動物の特性をよく考えて自分のライフスタイル合うペットを飼いましょう。